

第 70 回
関西社会学会大会
プログラム

第 1 日 2019 年 6 月 1 日（土）

第 2 日 2019 年 6 月 2 日（日）

開催校・後援

関西学院大学

一般研究報告 A（部会口頭報告）の報告者の方へ、開催校からお願い

- ・報告者は部会開始時間の 5 分前までに会場に集合して、司会者と打ち合わせをしてください。
- ・1 報告あたりの報告時間は 25 分です。
- ・会場では配布資料のコピーサービスはできませんので、報告者は 50 部程度ご用意ください。
- ・報告申込の際に情報機器の使用を希望した報告者の会場には、プロジェクタ他の当該機器が備えられています。パソコンはご自身で持参してください。（ただし開催校でも部会の部屋ごとに WINDOWS 10 のノートパソコンを用意します。ご利用の場合は USB メモリなどを持参してください。）プロジェクタとパソコンを接続するケーブル（RGB）は備わっています。Mac をご利用の場合はアダプタもお持ち下さい。
- ・機器や接続には故障や不具合が生じる場合があります。万一に備え、機器なしでも滞りなく発表できるようにご準備ください。機器を利用する方は、部会の始まる 20 分前に報告教室にお集まりいただき、その教室で機器が正常に作動するかを確認してください。
- ・大会奨励賞受賞者は、学会ホームページで発表します。

一般研究報告 B（ポスター報告）の報告者の方へ、開催校からお願い

- ・ポスターセッションの会場は、E 号館 1 階 101 教室です。
- ・部会開始時間の 5 分前までに会場に集合して、監督者と打ち合わせをしてください。
- ・報告時間は 1 時間 30 分です。時間中は基本的にポスターの前において、質疑応答を行ってください。やむを得ない事情でポスターから長時間離れる場合は、かならず監督者にその旨を伝えてください。
- ・配布資料はご自身でご用意ください。
- ・その他部会の進行については、監督者の指示にしたがってください。

※大会の直前に病気や事故等やむを得ない事情で、発表をキャンセルする場合は、以下の開催校メールアドレスにメールするか、あるいは、発表者・司会者向けに別途お知らせする緊急連絡用電話番号に連絡してください。

ksa70.kg（アットマーク）gmail.com

<参加費用>

大会参加費： 2,000 円

懇親会費： 5,000 円（一般）、3,000 円（学生）

大会期間中の託児室のご案内

大会期間中、託児室を設置します。託児業務は、民間のシッターサービス（TOMMY, <http://sitter-service-tommy.com/>）に委託します。

利用料は、お子さまお一人につき1時間あたり1,000円です。学会開催校から補助を行って、そのうえで利用者が1時間につき1000円利用料をご負担いただきます。学会員以外の方もご利用になれます。

利用時間：6月1日（土） 12:30～17:30

6月2日（日） 9:00～15:30

※2日目の昼食は、保護者の方が引き取って一緒にお取り頂くようお願いいたします。昼食引き取り時間は各自、設定してください（昼食時の利用料金はかかりません）。

利用料金：お子さまお一人につき1時間あたり1,000円

対象年齢：0歳児から未就学児まで

申し込み方法

託児室の利用を希望される方は、①から⑤までの項目を必ずすべてご記入のうえ、5月10日（金）17:00までに、下記のアドレスまでお申し込みください。

①保護者氏名

②託児室を利用されるお子さまの人数

③お子さまのお名前、年齢・月齢、性別（お2人以上の場合は全てのお子さまについて）

④保育希望の日時（何日の何時から何時まで保育を希望するか）

⑤託児室利用についての連絡先：メールアドレスと電話番号（当日、緊急連絡が可能な番号）

⑥アレルギー等の特別な配慮について

※定員になった場合、締め切らせて頂くことがありますので、お早めにお申し込みください。

申し込み先

大会実行委員会事務局メールアドレス ksa70.kg（アットマーク）gmail.com（メールを送る場合は、アットマークを@にしてください）

メールのタイトルは、「第70回関西社会学会大会 託児室予約」と記入してください。

その他

※お預かり中におやつや飲み物が必要な場合は、保護者さまの方でご用意ください。

※お昼寝が必要なお子さまには、バスタオルをご持参ください。

※ご利用料金のお支払いは、学会受付にて現金でお支払いください。託児室の受付は、学会参加費の受付の隣に設置する予定です。

※当日のキャンセルにはキャンセル料（全額）が発生します。

第1日 6月1日(土)

◆受付開始 12:00 (関学会館メインロビー)

◆シンポジウム(関学会館レセプションホール) 13:00~16:30

シンポジウム「社会学は死んだのか?——社会に関する知の行方」

司会 荻野昌弘(関西学院大学)

報告者および報告タイトル

- | | |
|--|--------------|
| 1. 戦後日本の社会学史から | 井上俊 |
| 2. 文系縮小圧力のなかでの社会学の立ち位置
—科学との類似性と異質性のあいだで— | 筒井淳也(立命館大学) |
| 3. 「非宗教的なもの」の宗教社会学
—キリスト教と神道の間— | 赤江達也(関西学院大学) |
| 4. 生活と知の主体性
—福島原発事故避難指示解除区域を例に— | 関礼子(立教大学) |

討論者

樫村愛子(愛知大学)
松田素二(京都大学)

◆総会 16:45~17:30 (関学会館翼の間)

◆懇親会 18:00~20:00 (関学会館レセプションホール)

第2日 6月2日(日)

◆受付開始 9:00 (E号館1階)

研究報告Ⅰ 6月2日 日曜日午前 9:30~12:00

- | | | |
|---|------------|--------------------------------|
| 1. 理論・学説 | (E号館102教室) | 司会：奥村隆(関西学院大学) |
| 1. 音楽、《臨場的沸騰》、ナショナリティ
—LOVELYZ、BTS、KARAを主な例に— | | 福永英雄 船岡塾 |
| 2. 「まなざしの地獄」再訪
—70年代見田社会学における価値理論の構想— | | 徳宮俊貴 神戸大学 |
| 3. 保守主義と歴史
—福田恆存の思想から— | | 松野靖子 関西学院大学 |
| 4. 真木「時間の4類型」・再考
—社会学的時間概念の公理論化(1)— | | 高橋顕也 立命館大学 |
| 2. 教育(1) | (E号館306教室) | 司会：岩井八郎(京都大学) |
| 1. 高校生の地域定住志向に与えるソーシャル・キャピタルの影響
—口丹通学圏の府立高校調査を題材に— | | 長光太志 関西大学 |
| 2. 大学大衆化時代の「予備校文化」
—河合塾と牧野剛を中心に— | | 藤村達也 京都大学 |
| 3. 専攻分野による高学歴層の保守主義の分化 | | ○渡辺健太郎 日本学術振興会
齋藤僚介 日本学術振興会 |
| 3. 文化 | (E号館103教室) | 司会：雪村まゆみ(関西大学) |
| 1. アニメ文化における体験型消費の事例分析
—TVアニメ『ユーリ!!! on ICE』を中心に— | | 山崎晶 京都文教大学 |
| 2. 放送業界における著名人の名簿の変遷
—『日本放送年鑑』人名録の歴史から— | | 笹部建 関西学院大学 |
| 3. 1940-70年ニューヨーク・アートワールドのネットワーク分析
—New York Painting and Sculpture: 1940-70にみられる画家・彫刻家と画廊・美術館の関係性の変化— | | 笹島秀晃 大阪市立大学 |
| 4. 女性向け漫画における男性同性愛表現の変遷
—物語の結末に着目して— | | 河原優子 京都大学 |
| 4. 社会問題 | (E号館104教室) | 司会：足立重和(追手門学院大学) |
| 1. ポスト・アルコールリズムという思想
—依存症予防の教育現場で、アルコール自身を考える— | | 前田益尚 近畿大学 |
| 2. ハウジング・ファースト型支援の社会的・質的調査
—「幽霊」に悩む当事者と支援者の「飛び地」をめぐる— | | 山北輝裕 日本大学 |
| 3. 「非行」の子をもつ親の会の自助グループ機能と参加者の変化 | | 藤澤三佳 京都造形芸術大学 |
| 4. 精神障害者患者会のエスノグラフィ
—ひとつの調査行為の終結に向けて— | | 鎌田大資 椋山女学園大学 |

5. エスニシティ (E 号館 205 教室) 司会：山本かほり (愛知県立大学)

- | | | |
|--|-------|-------|
| 1. 在日済州人の国境を超えた社会運動
—日本での4・3運動に関わった人々の経験から— | 金漢拏 | 同志社大学 |
| 2. 朝鮮学校と地域社会の関係をめぐって (1)
—銀閣寺の近隣に民族学校ができるとはいかなる経験か— | ○板垣竜太 | 同志社大学 |
| | ○森田和樹 | 同志社大学 |
| 3. 朝鮮学校と地域社会の関係をめぐって (2)
—朝鮮学校生徒と地域社会住民の相互認識— | 金汝卿 | 同志社大学 |
| 4. 形骸化した食のタブーから見る少数民族の再構築
—中国内モンゴルにおけるモンゴル民族を事例に— | 李兆欣 | 神戸大学 |

6. 社会史 (E 号館 206 教室) 司会：西村大志 (広島大学)

- | | | |
|--|------|--------|
| 1. 衰退する社会との付き合い方「距離をとる」
—旧銅山町足尾での聞き取りを通して— | 三浦一馬 | 日本大学 |
| 2. 日記からみる庶民のアジア・太平洋戦争
—山田風太郎の戦中派日記のテキストマイニング— | 渡邊勉 | 関西学院大学 |
| 3. コメ本位社会における流通メディアの発達
—米か貨幣か— | 碓井崧 | 金沢大学 |
| 4. ラジオ放送作品における大阪と戦争の再構築
—放送作家・長沖一の占領期下作品を事例として— | 後藤美緒 | 日本大学 |

◆一般研究報告 B (ポスター報告) (E 号館 101 教室) 11:30~13:00

- | | | |
|--|-------|--------|
| 1. 単純比較モデルによる収入評価分布の説明
—SSP2015 データの分析— | 石田淳 | 関西学院大学 |
| 2. 戦後日本社会はいかに変容したか(2)
—学生による研究活動の成果から— | 荻野昌弘 | 関西学院大学 |
| | 小田二元子 | 関西学院大学 |
| | 藤井亮佑 | 関西学院大学 |

7. 都市 (E号館 206 教室) 司会：小川伸彦（奈良女子大学）
1. 地方における親と子の〈同別居〉と〈近居〉の実態
—「愛媛・長崎県民生活実態調査」の分析から— 松川尚子 関西学院大学
 2. 人口の都心回帰と都市祭礼の継承
—京都祇園祭山鉾行事を事例に— 得能司 同志社大学
 3. 京都のスクウォッター地区における生活実践過程
—京都市西京区下津林の朝鮮部落を中心に— 呉仲元 同志社大学
 4. 「ホームレス」の語りに共鳴する人々
—『ビッグイシュー日本版』誌面分析から— 八鍬加容子 京都大学
8. 政治 (E号館 305 教室) 司会：宇城輝人（関西大学）
1. 現代カナダにおける先住民政治の争点
—先住民—植民国家関係の再構築のために— 鈴木赳生 京都大学
 2. アイスランド憲法改正運動の再活性化
—社会運動による政治的機会創出プロセス— 塩田潤 神戸大学
 3. 争点態度の構造と規定要因
—構造方程式モデリングの適用— 池田裕 京都大学
9. 教育 (2) (E号館 306 教室) 司会：西田芳正（大阪府立大学）
1. 1990年代以降の女性の進学行動
—JGSS-2015/2016を用いて— 園部香里 京都大学
 2. PBL型科目での学びが学生に与える影響
—大学におけるアクティブ・ラーニングの影響に関する研究（3）— ○徳井公樹 佛教大学
大束貢生 佛教大学
全炳昊 佛教大学
長光太志 佛教大学
大窪善人 佛教大学
牧野芳子 佛教大学
 3. PBL型科目での学生の活動が地域社会に与える影響
—大学におけるアクティブ・ラーニングの影響に関する研究（4）— ○大束貢生 佛教大学
徳井公樹 佛教大学
全炳昊 佛教大学
長光太志 佛教大学
大窪善人 佛教大学
牧野芳子 佛教大学
10. コミュニケーション・情報 (E号館 103 教室) 司会：鈴木謙介（関西学院大学）
1. インターネット空間における公共圏の形成とその政治的転換
—社会運動を事例とした政治的機能の再建に向けて— 崔昌幸 京都大学
 2. 「ゼロ年代」の「アーキテクチャ（情報環境）」論 稲葉年計 首都大学東京
 3. 高齢者におけるネットを介した対人交流と主観的幸福との関連
—2018年「高齢者の情報行動」調査の分析結果から— 辻大介 大阪大学

- | | | |
|---|----------------------|-----------------------|
| 1 1. 福祉・医療 | (E 号館 104 教室) | 司会：井口高志 (東京大学) |
| 1. 「制度」としての「薬害」被害者
—ヴェーバーの「カリスマの日常化」の視点より— | 種田博之 | 産業医科大学 |
| 2. 認知・感情・意図の相互理解を促す
—インクルーシブな就学前発達障害児支援の条件— | 児玉菜 | 京都大学 |
| 3. 何がどこまで知らなければならないのか
—薬害における被害者団体アーカイブズの意義について— | 藤吉圭二 | 追手門学院大学 |
| 4. 釜ヶ崎の居場所
—利用者のネットワーク形成について— | 澤井久実 | 大阪市立大学 |
| 1 2. 地域研究・国際関係 | (E 号館 205 教室) | 司会：徳田剛 (大谷大学) |
| 1. 家族主義福祉レジーム諸国の脱家族化
—日本とイタリアの育児政策比較研究— | 大木香菜江 | 京都大学 |
| 2. 東アジアのトランスナショナルな労働移住
—韓国のメディア・コンテンツ製作労働者を中心に— | KIM SUHYUN | 京都大学 |
| 3. 現代社会と「再=呪術化」
—東南アジア、タイの事例より— | 福浦一男 | 桐蔭横浜大学 |

◆若手企画部会 (E 号館 102 教室) **13:00～15:30**

テーマ：21 世紀の社会学理論の課題を考える——複雑性理論を経由して

コーディネーター：金瑛 (関西大学)

- | | | |
|---|-------|---------|
| 1. 複雑性理論と社会学理論
—古典は乗り越えられたのか— | 金瑛 | 関西大学 |
| 2. 複雑性の縮減／維持／増大という問題系
—N・ルーマンの社会システム理論と複雑性概念の検討から— | 梅村麦生 | 日本学術振興会 |
| 3. ブルデュー「界」概念のポテンシャル
—複雑性理論の問いに照らして— | 村田賀依子 | 奈良女子大学 |
| 4. 内部観察を志向する経済社会学構想の検討
—エレナ・エスポジトの理論構想と事例記述を題材として— | 金信行 | 東京大学 |

学会大会会場の関西学院大学西宮上ヶ原キャンパス構内案内図



[関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスまでのアクセス]

アクセスについては以下のリンクを参照してください。

https://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_000374.html

6月1日の会場である関学会館は、正門からキャンパスに入らずに、正門向かって右に行くと入り口があります。関学会館へのアクセスは関学会館 HP (<http://member.kwangaku.net/kwangakukaikan/>) も参照してください。

[大会期間中の昼食のご案内]

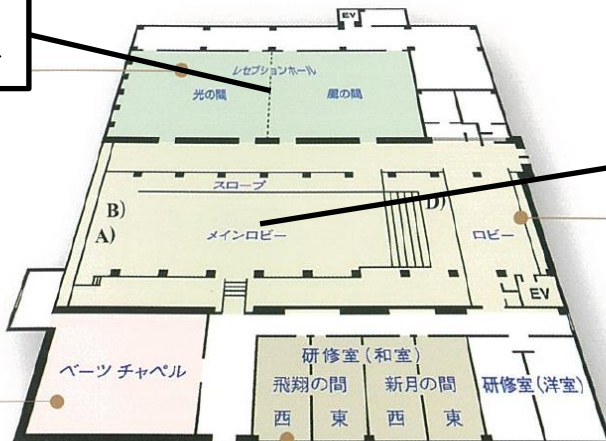
関学会館内レストラン「ポプラ」は両日営業しています。ただし、昼時は混む可能性があります。また、大会開催第一日は、学生会館内の生協食堂、各種レストラン及びH号館の「松屋」「ケンタッキーフライドチキン」が営業しております。第二日は学生会館内の生協食堂のみが営業しています。

6月1日（土）会場配置図

2nd floor

- チャペル
109m²／収容人数 96名
- レセプションホール「風の間」、「光の間」
443m²／テーブル席数 220席
（「風の間」、「光の間」各100席）
立食パーティー収容人数350名
椅子席のみ（シアター形式）500席
- 研修室（和室）「飛翔の間」、「新月の間」
31m²／4室
- 研修室（洋室）
30m²／2室

レセプションホール
シンポジウム・懇親会会場



受付

1st floor

- レストラン「ボブラ」
194m²／席数 90席
- 会議室「翼の間」
169m²／収容人数 50名（口の字型）
- 研修室「輝の間」
75m²／収容人数 36名（口の字型）
- 同窓会事務室
- 校友課
- 株式会社ケージークレセント
- 予約センター

翼の間
理事会・総会会場



輝の間
会員控え室

- ★1日（土）理事会は翼の間です。
- ★1日（土）シンポジウム打合わせはオハラ・ホールです。
- ★懇親会の会場はレセプションホールです。
- ★会員控室は輝の間です。
- ★喫煙は所定の場所にてお願いします。

6月2日（日）E号館会場配置図

【3階】

305 午後：政治	306 午前：教育(1) 午後：教育(2)
304	WC
303	WC
302	301 理事控え室

【2階】

205 午前：エスニシ ティ 午後：地域研究・ 国際関係	206 午前：社会史 午後：都市
204	WC
203	WC
202 出版展示	201 ソシオロジ総会 奨励賞判定会議

【1階】

103 午前：文化 午後：コミュニ ケーション・情報	104 午前：社会問題 午後：福祉・医療
102 午前：理論・学説 午後：若手企画	WC
E号館 事務室	受付
	101 会員控室 ポスター発 表会場

【地下1階】

機械室	
倉庫	
託児室	院2 スタッフ控室
	院1 スタッフ控室

★会員控室は E101 です。

★喫煙は所定の場所にてお願いします。